

坂の上通信

平成二十九年十月十三日
広島市立美鈴が丘高等学校
新聞文化部(四〇三演習室)

2年生修学旅行へ

1日目

東京スカイツリーと浅草寺見学

一足先に中間試験を終え、10月3日(火)

から6日(金)まで、2年生は修学旅行にて



スカイツリーの展望台より。まさに空中庭園だ。

かけた。行き先は、東京である。

当日は8時20分に広島駅に集合し、新幹線で東京へ向かった。あいにくの曇り空で、残念ながら、車窓から富士山を拝むことはできなかった。

到着後は、東京スカイツリーと浅草を訪れた。スカイツリーの展望台では、曇っていたものの、じつに遠くまで景色を眺めることができ、またガラス床の上に立つことで、自分が空中にいるかのような体験もできた。

浅草散策では、有名な「ジャンボめろんぱん」を食べ、レトロな雰囲気だよう仲見世通りを観光した。また浅草寺も拝観した。

【旅行を終えて】 団長・教頭先生にインタビュー

今回の修学旅行の団長を務めた教頭先生に、旅行の感想を伺った。

「修学旅行で一番大変だったこと、また良かったことは何ですか。」

「すべて順調に進み、日程通りに旅行が進んだので、特に

大変だったことはなかったです。無事に終えられたことが、何よりよかったです。

「今回の旅行を経て、2年生に感心したことがあれば教えてください。」

「2年生は、自分たちで考え、修学旅行をいよいよものにしていました。その姿勢に

は感心しましたね。一昨年修学旅行へ行く1年生にアドバイスがあれば、

来年は進路学習に関係した企画を取り入れる計画があります。実りあるものになるよう、自分の進路や将来の生き方など、今のうちからよく考えておいてください。

2日目

班別研修とライオンキング

2日目は、東京班別自主研修日である。5人から8人程度で班を作り、東京都内での研修を行った。記者の1日を紹介する。

まずはクラスで、上野にある国立科学博物館を見学した。その後上野駅から山手線に乗り、原宿の竹下通りに行った。ここでアクセサリーショップや雑貨屋を見てまわった後、「トッティキャンディファクトリー」のわたあめを食べた。この店は女子の間で人気が高く、多くの美高生も訪れていた。

昼食には原宿で人気のパンケーキを食べ、その後渋谷へ向かった。待ち合わせ場所として有名なハチ公とモヤイ像を見学したが、特にハチ公前は多くの人にぎわっていた。ニューズ映像などでもよく流

れるスクランブル交差点も渡ったが、やはり人がとても多く、また信号の切り替わりが意外と短く、渡るのがたいへんだった。

その後は、109でショッピングをした。広島のショッピングセンターとは違い、人も店の数も多く、非常にぎわっていた。

夕方には四季劇場に集合し、ライオンキングを鑑賞した。2時間45分の公演だったが、集中していたせいにか、あっという間に終わっていった。演技・歌・ダンス

全てに感動し、動物たちの迫力に圧倒された。今回初めてライオンキングを見た人も多く、それぞれが楽しい時間を過ごしていた。劇が終わった後、ライオンキングのまねをしている人もおり、とても印象に残ったようだ。

3日目

ディズニースタディオを楽しんだ1日

3日目は、東京ディズニースタディオだ。ランドとシーは個人で選ぶことができただけだが、シーの方が圧倒的に多かったようだ。ランドを選んだ人は50人で、他の人はすべてシーにかけた。ちなみに記者はランドを選んだ。

人気の高いビックサンダー・マウンテンとイツ・ア・スモールワールドは点検中のため乗ることができなかった。それ以外のアトラクションはどれも混雑しており、特に人気のスプラッシュ・マウンテンは100分待ちだった。そのため、ファストパスを利用する人も多かったようだ。

ハロウィンが近いためか仮装をした人が多くおり、グッズや食べ物もハロウィン仕様になっており、とても魅力的だった。

夜には、光と音楽に包まれたナイトパレードが開かれ、さらにシンドレラ城では花火が上がり、ランド内は華やかな空気につまれた。

4日目

横浜を散策

最終日は、横浜と中華街を訪れた。赤レンガ倉庫などの名所を観光し、中華街で小籠包を食べた。中から熱々の肉汁が出てきて大変美味しい。お土産としても変えるのでお勧めだ。昼食は四五六菜館という店で中華料理を食べた。

充実した4日間を過ごし、多くの人にとって楽しい思い出になっただろう。

美・鈴・鈴・鈴

明治15年、栃木第一中学校の生徒が上野で開かれた博覧会を見学したことが修学旅行の始まりとされている。それから135年。高校の修学旅行にはどのような傾向があるのだろうか。▼ベネッセ教育情報サイトの調査によると、高校の修学旅行の目的地は九州・沖縄が最も多く、次いで北海道であった。意外にも3位には海外が挙げられていた。ただヨーロッパなどより、アジアなど比較的近いところへ行く傾向があるようだ。▼ところでネットでは、近ごろ「ディズニースーツを体操服と上靴で過ごす高校生」が話題となっていた。「双子コーデで友達と過ごしたい」「目立ちたい」という思いだそうだが「ディズニースーツの世界観がぶちこわし」といった否定的な声も多かった。是非ともかく、修学旅行に限らず校外での行動は後輩へも影響する。学校の代表として「節度」をもった行動を心がけたい。(山田菜桜)

編集後記

今回は2年生の部員が中心となって修学旅行特集号として誌面を作成した。掲載している写真もすべて部員の手によるものである。



国立科学博物館の館内(2日目)



きらびやかなパレード(3日目)



横浜の中華街にて(4日目)